

オリンピック・パラリンピック競技等の主な評価内容

独立行政法人日本スポーツ振興センター

評価の観点	オリンピック競技等	パラリンピック競技等
	内 容	内 容
パフォーマンス(成績) 資源(有望選手)	<ul style="list-style-type: none"> ①オリンピック競技大会の成績 ②アジア競技大会の成績 ③国際競技水準を最も反映する主要国際競技大会の成績 ④ジュニア世界選手権大会の成績 	<ul style="list-style-type: none"> ①パラリンピック競技大会、デフリンピック競技大会、世界選手権大会の成績 ②対象大会の入賞者率 ③対象大会の参加選手数
プログラム(強化戦略プラン等)	<ul style="list-style-type: none"> ①事業の実行性 ②コーチ・指導者の養成・資質向上(女性アスリート支援含む) ③国際力強化のための人材養成・配置 ④情報戦略、医・科学分野の活動 ⑤選手の教育・育成(アスリートに対する禁煙を促す取り組み含む) ⑥アンチ・ドーピング活動 	強化スタッフにおける認定のスポーツコーチ、スポーツ医、スポーツトレーナーの配置状況、女性アスリート支援及びアスリートに対する禁煙を促す取り組み状況
KPI達成度	競技団体ごとに設定したKPIの達成状況に応じて、上記内容等を踏まえ算出した額に以下の割合を乗じる A(達成):110%、B(概ね達成):100%、C(未達成):90%	
組織体制(ガバナンス等)	各競技団体のガバナンス調査の結果等に応じて、上記内容等を踏まえ算出した額に以下の割合を乗じる A(対応できている):100%、B(対応できてない):90%	